

## ☆ 代表値 (平均値・中央値・最頻値)

資料全体の特徴を、1つの数値で代表させるとき、その数値を代表値という。

- 平均値 : 資料の値の合計を資料の総数でわった値

$$\frac{\text{資料の値の合計}}{\text{資料の総数 (個数)}}$$

※ これまでに習った「平均」と同じ意味と考えてよい。
- 中央値 (メジアン) : 資料の値を大きさの順に並べたとき、中央にくる値

※ 資料の総数が偶数のときは、中央2つの値の平均となる。
- 最頻値 (モード) : 資料の中で、もっとも多く出てくる値

※ 度数分表では、度数のもっとも多い階級の階級値となる。

〈例題〉 次の資料の代表値をそれぞれ求めなさい。

資料

1, 2, 2, 2, 3, 4
5, 6, 6, 8, 9, 12

$$\text{平均値} = \frac{1+2+2+2+3+4+5+6+6+8+9+12}{12} = 5$$

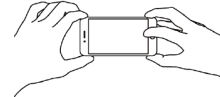
$$\text{中央値} = \frac{4+5}{2} = 4.5$$

$$\text{最頻値} = 2 \text{ (計 3 回)}$$

デジタル板書データ (youtube動画)

『代表値(平均値・中央値・最頻値)』

動画QRコード



- 1** 右の表は、あるクラスのテストの点数を整理したものです。  
次の問いに答えなさい。

(1) 最頻値を求めなさい。

(2) 平均値を求めなさい。

階級 (点)	度数 (人)
以上 未満	
0 ~ 20	2
20 ~ 40	3
40 ~ 60	8
60 ~ 80	12
80 ~ 100	5
計	30

2 下の資料は、中学1年生10人のテストの点数である。このとき、次の問いに答えなさい。

56, 80, 88, 78, 72, 82, 65, 92, 72, 49

- (1) 点数の分布の範囲を求めなさい。
- (2) 最頻値を求めなさい。
- (3) 中央値を求めなさい。
- (4) 平均値を求めなさい。

3 下の図は、ある中学生の生徒20人が冬休み中に読んだ本の冊数を、グラフに表したものです。次の問いに答えなさい。

- (1) このようなグラフを何というか。カタカナ6文字で答えなさい。
- (2) 分布の範囲を答えなさい。
- (3) 最頻値を求めなさい。
- (4) 中央値を求めなさい。
- (5) 平均値を求めなさい。

